

福生市教育委員会会議録

平成26年第4回臨時会

- 1 開催年月日 平成26年8月6日(水)
- 2 開始時刻 午後2時00分
- 3 終了時刻 午後3時30分
- 4 場 所 第二棟4階 第1委員会室
- 5 出席委員 委 員 長 平 野 裕 子
委員長職務代理者 渡 辺 浩 行
委 員 徳 永 喜 昭
委 員 加 藤 孝 子
教 育 長 川 越 孝 洋
- 6 欠席委員 なし
- 7 出席者氏名 教 育 次 長 天 野 幸 次
参事兼指導室長 石 田 周
庶務課長 町 田 和 子
主 幹 長 谷 川 智 也
教科用図書選定協議会委員長
第六小学校長 猿 田 恵 一
- 8 傍聴人 19名

9 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 議案第30号 福生市立小学校平成27年度使用教科用図書の採択について

日程第 3 議案第31号 福生市立小学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書
の採択について

日程第 4 議案第32号 福生市立中学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書
の採択について

午後2時00分 開会

委員長 皆様、お暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは、ただいまから平成26年第4回福生市教育委員会臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、渡辺浩行委員、徳永喜昭委員の兩名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、議案第30号、福生市立小学校平成27年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

主幹より内容説明をお願いいたします。

主幹 それでは、議案第30号、福生市立小学校平成27年度使用教科用図書の採択事務の流れについて、大きく2点御報告申し上げます。

第1点目は、全ての教科書を調査対象とする採択資料の作成事業についてでございます。5月の教育委員会でも御報告いたしましたが、福生市公立学校平成27年度使用教科用図書採択要領に基づき、教科用図書選定協議会、さらに教科ごとに教科用図書の調査委員会を設置いたしました。これらの委員会の目的といたしましては、本市の小学生に適した教科書を教育委員の皆さんに選定していただくための資料を作成することでございます。

資料作成に当たりましては、次の3つの観点から調査研究を依頼いたしました。1点目が内容、2点目が構成上の工夫、3点目が特長についてでございます。お手元には、事前に配付させていただきました教科用図書選定協議会報告書（様式1）を配付させていただいております。

本日は、教科用図書選定協議会委員長、福生第六小学校、猿田校長にも御出席いただいております。猿田委員長から、後ほど報告書に基づいて全ての教科書の特長について御説明をいただきます。

第2点目は、教科書展示会に関する御報告でございます。お手元の資料、平成27年度使用教科書展示会をごらんください。6月1日から6月28日まで、教科書の特別展示会及び法定展示会を開催いたしました。今年度から会場を中央図書館に変更したことによりまして、合計47名の閲覧者を得ることができました。この閲覧者の意味ですが、閲覧者カードに御記入、そして御提出いただいた方の数を示しております。実際には、閲覧者カードに記入されずに教科書を手にとられた市民の方も多数いたと考えておりま

す。なお、前回採択時に中央体育館の教科書センターで行った展示会の閲覧者数は21名でございました。

また、今回のアンケートにつきましては、19通の御意見をいただいております。内訳といたしましては、市内から14通、市外から3通の御意見をお寄せいただきました。さらに、1団体から1件の御要望をお寄せいただいております。内容につきましては、後ほどご覧いただければと思います。

なお、見本本を各委員の皆様の後方に置いてございますので、本日必要に応じて御参照いただければと思います。

それでは、先ほどお話ししましたように、教科用図書選定協議会報告書につきまして、猿田委員長より御説明させていただきます。

猿田委員長 福生第六小学校の校長、猿田でございます。よろしくお願いいたします。

ただいま長谷川主幹より御説明がございましたとおり、教科用図書選定協議会委員長として、全ての教科書について調査研究した結果を御報告いたします。

御報告の仕方ですけれども、各教育委員の皆様のお手元に御提出いたしました教科用図書選定協議会報告書（様式1）の順番に、各教科書の特長について要約をしながら、国語から順番に御説明をまいります。

初めは国語です。国語は5社ございます。

初めは東京書籍「新編 新しい国語」です。特長は、「日本語のしらべ」として、日本の四季と言語を関連づけている点です。主体的な学習を通して身につける確かな「言葉の力」を意識し、論理的・創造的に考え表現する力や情報活用力、読解力、コミュニケーション能力や日本の言語文化への理解あるいは愛着を育むことに重点が置かれています。

次に、学校図書の「みんなと学ぶ 小学校国語」です。特長は、「保護者の方へ」のページを設け、児童がどんなことを学び、どんな力をつけようとしているのかを明記しています。文字が読みやすく、カラーページや表の使い方など視覚的に捉えやすく、児童が身近に感じる教材を取り上げています。

次に、三省堂の「小学生の国語」です。特長は、全学年に図書館指導を位置づけ、児童の主体的な図書館活動を促しています。別冊の「学びを広げる」では、学習の解説を見開きでコンパクトにまとめてあり、教科書と別冊の資料を活用できるようになっています。また、各学年ともに上下巻に分かれていない一冊構成の教科書なので、見通しを持って学習ができます。

次に、教育出版の「ひろがる言葉 小学国語」です。特長は、児童の興味、関心を高める穴あきのページや学習活動を充実させるカードなど付録が充実しており、巻末の「この本で学ぶこと」で、国語科で学ぶ言葉や指導事項が一覧で示されています。我が国や郷土への愛情を育むため、文学作品や古典作品に加え、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の教材で、多様な話題、多様な題材が取り上げられています。

次に、光村図書出版の「国語」です。「季節の言葉」など、言葉の美しさや素晴らしさを強調する姿勢が随所にあられています。単元冒頭に目標と学習内容を明示し、読みの観点と取り組む言語活動がわかるようになっています。また、「学習をみわたそう」などが設けられており、児童みずからが主体的に学習に取り組むことができます。ユニバーサルデザインにより色使い等が工夫され、とてもわかりやすい配慮があります。国語については以上です。

続いて、書写です。書写は6社ございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい書写」です。特長は、通常の版より横長に設定をしてあり、文字が大きくなっています。挿絵やカラーを多用して、視覚的に理解しやすいようになっています。ページの左側に学習のポイントや関連ページが示されており、主体的に学習できるようになっています。

次に、学校図書の「みんなと学ぶ 小学校書写」です。特長は、吹き出しにより学習のポイントをわかりやすく示し、「保護者の方へ」として、学びの説明がなされています。学習シールやキャラクターを使うなど、学習意欲を高めるための紙面構成になっています。

次に、三省堂の「小学生の書写」です。特長としては、教科書に書き込み欄を設け、振り返りができるようになっています。毛筆では、穂先の向きや筆の運び方、力加減がイラストで明示されています。「ひろげよう」により、実生活や国語科の学習につなげることができます。

次に、教育出版の「小学書写」です。特長は、筆や鉛筆のつくり方や郵便の仕組みなど、書写に関係のある道具などの知識を知ること、意欲、関心を高めることができるようになっています。とてもカラフルで、明るく見やすくなっています。

次に、光村図書出版の「書写」です。特長は、各単元に「何を学習するのか」が明確に示されており、児童が主体的に知識・技能を習得できるようになっています。また、横書き、手紙、はがきの書き方、新聞の書き方、

ノートの工夫等、発達段階に合った内容の資料を掲載しており、基本的・発展的な学習ができるように工夫されています。

次に、日本文教出版の「小学書写」です。特長は、カラフルなイラストやキャラクターで楽しく学べるようになっています。巻頭に学習の目当てを示し、巻末で実践につなげるよう工夫しています。書写については以上です。

続いて社会です。社会は4社ございます。

まず、東京書籍の「新編 新しい社会」についてです。特長は、單元ごとに問題解決的な学習の進め方を見開きで例示しており、重要語句が太字で書かれています。書き込みのできる箇所が多く、学習内容を適宜確認できます。

次に、教育出版の「小学社会」です。特長は、問題解決のために必要な言葉が「キーワード」として抽出され、学習活動の流れが載っており、児童が理解しやすく、見通しを持って取り組みます。また、棒グラフなど資料提示が充実しており、情報量が多く、学習をより深めることができます。

次に、光村図書出版の「社会」です。特長は、スペースが大きく、情報が整理され、1巻構成になっており、資料等の比較がしやすくなっています。調べ学習の仕方の説明があり、自ら深める学習の支援があります。

次に、日本文教出版の「小学社会」です。特長は、ポスターや新聞などの具体例が載っており、難しい言葉は「コーナー」で説明されています。現代社会の課題にも触れ、生活経験と結びつける工夫がなされています。社会については以上です。

続いて、地図です。地図は2社あります。

まず、東京書籍の「新編 新しい地図帳」です。特長は、必要な情報を絞って掲載しており、ワイド判の地図で、地図記号が大きく見やすい点です。紙質が適度な滑らかさのため、鉛筆や色鉛筆でも書き込みがしやすく、学習の軌跡を残すことができます。

次に、帝国書院の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。特長は、資料が豊富で、児童の興味、関心を引く工夫が図られています。地図の成り立ちと約束事が最初に書いてあり、地図を読み取る視点や学習課題をキャラクターを用いて示しており、児童の理解を深めることができます。また、災害への備えや防災について、具体的に示した地図等も掲載されています。地図については以上です。

続いて、算数です。算数は6社あります。

初めに、東京書籍の「新編 新しい算数」です。特長は、福生市でも課題となっている算数的思考力を高める問題を単元の中に取り入れている点です。例えば「考える力をのばそう」は、図や表を活用する能力や数学的に考える力を伸ばす上で非常に効果的です。また、「何々を考えましょう。」という形の問いが多く、課題解決の考え方を身につけるのに有効です。

次に、大日本図書の「新版 たのしい算数」です。特長は、上下巻をまとめた一巻構成になっており、見通しをもちやすい点です。また、立式の根拠の説明などを教科書に直接書き込むスペースがあり、練習問題も多く、進度の早い児童にとっては有効です。

次に、学校図書の「みんなと学ぶ小学校算数」です。特長は、図を用いた解決方法を利用して、立式の根拠がわかりやすくなっています。計算記述が丁寧であるなど、算数が苦手な児童にもわかりやすい配慮がされています。

次に、教育出版の「小学算数」です。特長は、教科書上の人物の説明を見させて、その考え方について児童に発表させる流れになっています。問題数が適量であり、 $+\alpha$ では、基本の問題に加え、レベルアップ問題が示されています。

次に、啓林館の「わくわく算数」です。特長としては、練習、確かめが充実しており、確かめの最後に感想を書くことができ、学習の振り返りに適しています。また、巻末の補充問題がとても充実しています。

次に、日本文教出版の「小学算数」です。特長は、横長のA B判を採用してあり、教科書のサイズが大きく、情報量も多い点です。側注で学習過程を示しており、学習の流れがわかりやすくなっています。算数については以上です。

続いて、理科です。理科は6社ございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい理科」です。特長は、問題・実験が見開きに、結果やまとめが次のページにというページ構成となっている点です。さらに、分野別目次になっており、既習内容がわかりやすく、シンプルな問題が多く、取り組みやすくなっています。

次に、大日本図書の「新版 たのしい理科」です。特長は、実験、観察が重視され、学習の流れがわかりやすく、単元末の問題形式「たしかめよう」により、学習内容の定着に生かすことができます。また、多摩川や浅川の身近な写真や、福生市で多く使用されている双眼顕微鏡の使い方が詳

しく記載されており、活用しやすい点も特長です。

次に、学校図書の「みんなと学ぶ小学校理科」です。特長は、他と比べ、5、6年生で単元配列が個性的である点です。縦帯状に授業の流れがわかり、情報量が比較的多いことも特徴です。科学者の写真や言葉が記載され、興味、関心を喚起できます。

次に、教育出版の「未来をひらく小学理科」です。特長は、6年生の教科書に人体の挿絵がほぼ実物大でわかりやすく、インパクトがある点です。実験方法やその説明が詳しく書かれているので、理科の指導が苦手な教員でも使える教科書です。

次に、信州教育出版社の「楽しい理科」です。特長は、場面に応じた写真等の工夫があることと、観察、実験など直接体験を重視した構成になっている点です。マークにキャラクターを使用し、興味を引くようにしてあります。

次に、啓林館の「わくわく理科」です。特長は、他に比べて発展的な内容が多い点です。単元末に「まとめよう」として最重要事項がわかるようになっており、ワークシート（わくわくプラス）が別冊となっていることも特長です。理科については以上です。

続いて、生活科の8社の教科書について御報告をいたします。

初めに、東京書籍の「新編 新しい生活」です。特長は、実践活動が多く、学習内容を自分のこととして考えられるようになっており、それぞれのページに「やくそく」や発表の仕方、人への聞き方などの欄があって、活動する際に参考となる点です。

次に、大日本図書の「新版 たのしいせいかつ」です。特長は、見出しごとにページが開きやすい工夫がされています。「せいかつのことば」の欄は、児童が観察カードを書く際などに生かすことができそうです。

次に、学校図書の「みんなとまなぶしょうがっこうせいかつ」です。特長は、絵本のようなイラストが多く、はっきりとした色を多用している点と、体験的な学習等の学習の方法を身につけることができるよう工夫されていることです。

次に、教育出版の「せいかつ」です。特長は、自分の成長を振り返る上で、できるようになったことを想起させており、成長を具体的に実感できる工夫がされている点です。また、実践活動が多く盛り込まれ、「はっけんヒント」や「おうちでチャレンジ」が提示され、学習内容を自分の家庭生活で活用できる工夫もなされています。

次に、信州教育出版社の「せいかつ」です。特長は、「家庭の場面から始まり、家庭の場面で終わる」構成で、家族とのかかわりの場面を大事に考えている点です。上巻の学習内容を1年生で、下巻の学習内容を2年生とし、使いやすく工夫されています。

次に、光村図書出版社の「せいかつ」です。特長は、キャラクターが学習を助けるヒントやまとめを言っていて、児童にとって楽しくわかりやすい点です。実践活動も多く、学習内容を自分のこととして考えられるようになっていきます。

次に、啓林館の「わくわくせいかつ、いきいきせいかつ」です。特長は、単元を通して活動が深められるよう、気づきの明確化が4段階構成で工夫されている点です。また、「わくわくせいかつたんけんブック」は別冊になっていることで、野外活動に持参することができます。

次に、日本文教出版の「わたしとせいかつ」です。特長は、子どもたちが発するような言葉をタイトルにしていることや、イラストの子どもたちの豊かな表情が子どもたちの興味、関心を高める点です。気づきの質を高めるためのアプローチなどの工夫がなされています。生活科については以上です。

続いて、音楽です。音楽は2社ございます。

初めに、教育出版社の「音楽のおくりもの」です。特長は、教材一つ一つに対する情報量がとても多く、知識が広がる点です。音楽づくりは課題が高度であり、発展的な学習に適しています。

次に、教育芸術社の「小学生の音楽」です。特長は、1時間ごとの学習の要点がわかりやすくまとめられており、音域や難易度が発達段階に応じてスモールステップになっているため、取り組みやすい点です。一つの題材に対して歌唱、器楽などさまざまな活動でアプローチすることができます。音楽については以上です。

続いて、図画工作です。2社ございます。

初めに、開隆堂出版の「図画工作」です。特長は、題材、資料ともに具体的な活動が詳しく載っています。見開き2ページでつくり方や指導のポイントが構成されており、児童の作品が多く掲載され、児童は身近に感じながら、見通しをもって作品づくりに取り組みやすいと考えられます。

次に、日本文教出版の「図画工作」です。特長は、画家や作家の作品を載せていることです。高学年からは、材料から広げる題材が多く、オープンエンドなどの自由度の高い点も特長です。図工については以上です。

続いて、家庭科です。2社ございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい家庭」です。特長は、全体的に情報が精選され、書き込みコーナーをとるなど、ゆったりとした紙面になっている点です。「プロに聞く」のコーナーで、既習事項が実生活にどう生かされているか実感できることも特長です。

次に、開隆堂出版の「小学校わたしたちの家庭科」です。各単元、振り返りを重視し、家庭での実践に役立つ内容が掲載されている点が特長です。資料が豊富で、写真が非常に鮮明であり、作業手順を視覚的に捉えやすいということも挙げられます。豆知識が載せられており、児童の関心を高められる工夫も見られます。

続いて、保健です。5社ございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい保健」です。特長は、見開き1ページまたは2ページで1時間の学習ができるように構成されています。章が終わるごとに「広げよう」、「ふり返ろう」のページがあり、児童の生活に即した学習課題として捉えることができます。

次に、大日本図書「新版 たのしい保健」です。特長は、見開き2ページで1時間の学習ができるように構成されています。「ミニちしき」のコーナーでは、学んだことを、より生活の中に置き直して考えさせる工夫がなされています。

次に、文教社の「わたしたちの保健」です。特長は、教科書が大きく、見やすくなっており、大切なポイントは黄色の枠で囲まれ、キーワードが太文字になっています。絵が児童に親しみやすく、自分の生活に重ねて考えることができます。

次に、光文書院の「新版小学保健」です。特長は、学習課題、学習事項、キーワードなどがわかりやすく記述しており、健康・安全にかかわる社会的な課題を積極的に取り上げている点です。

次に、学習研究社の「新・みんなの保健」です。特長は、見開き2ページの構成のため使いやすく、グラフや写真等の資料も多く、学習の見通しを立てながら段階的に理解できるようになっています。また、自分の考えを書く欄が随所にあり、考えをきちんと整理しながら学習を進めることができます。どの単元でも発展学習を取り入れ、さらなる学習課題を提示しています。保健については以上です。

長時間になりましたが、教科用図書選定協議会が作成した報告書（様式1）に基づきながら、全社、全ての教科書の特長について要約をしながら

報告いたしました。

以上です。

委員長 御説明ありがとうございました。

これより質疑に入りたいと思います。質問があれば、猿田委員長にお答えいただき、内容を深めてまいりたいと思います。

それでは、教科ごとに質疑を進めてまいります。まずは、国語について質疑がありましたらお願いいたします。

渡辺委員 御説明ありがとうございました。

国語科ですが、国語というのは全教科の基礎となるもので、大変重要なものだと認識しています。また、学力調査等の結果から、本市の子どもたちは読み解く力が課題であると思っております。そこで、読む作品数の多い教科書を教えていただければと考えております。よろしく願いいたします。

猿田委員長 報告書の様式1をごらんいただければと思うのですが、読むことの文種別の作品数の中で「文学的な文章」、つまり物語文が一番多いのは光村図書出版です。続いて東京書籍です。また、「説明的な文章」、説明文が一番多いのも光村図書出版で、やはり次いで東京書籍となっています。特に原作と比較をした場合に、途中省略をするとか、あるいは原作を全部載せるとか、原作の意図を忠実にあらわしている教材を多く使用しているのは光村図書出版だと分析をしています。

主幹 事務局より補足をさせていただきます。

東京都教育委員会が作成いたしました「平成27年度から平成30年度使用教科書調査研究資料（小学校）」によりますと、「読むこと」の文種別作品数の中で、「文学的な文章」では光村図書出版が38作品、次いで、東京書籍が36作品でございます。「説明的な文章」では、光村図書出版が34作品、次いで東京書籍が24作品となっております。

以上でございます。

徳永委員 猿田先生、ありがとうございました。

今の補足とあわせてですが、読むことというのは、日本語を母語としている児童には当然なのだけでも、福生の特徴である日本語が母語でない児童のことを考えても、今の読むことの教材作品数という資料はとても大事なので、現行の三省堂についてはいかがでしょうか。

主幹 三省堂につきましては、先ほどの資料によりますと、「文学的な文章」では34作品、「説明的な文章」では17作品でございます。

以上でございます。

加藤委員 ありがとうございます。

教科書を調査する上で、委員会として特にどのような点を重視して進めていらっしゃいましたか。

猿田委員長 冒頭の長谷川主幹からも話がありましたように、「内容」「構成上の工夫」「特長」という3点の基準で進めてまいりましたが、中でも重視するところは、「言語活動を重視しているか」「親しみやすい教材か」「教える我々教員側が使いやすいか」という視点、そして「福生子どもたちに学ばせるに当たってふさわしいかどうか」という視点、そのような視点も加味しながら調査研究を進めました。

以上です。

加藤委員 今お話しいただいた中で、「言語活動を重視している」という教科書はどれになりますか。

猿田委員長 光村図書出版は、単元名で単元の読みの観点、指導すべき内容と、子どもたちが取り組む言語事項がわかるようになっている点が挙げられるかなと思います。上段に読みの観点、下段に言語活動の手順を示して、「言語活動を通して、つけたい力の定着を図る」ことが実現できるような構成になっていると分析しています。

以上です。

委員長 ほかにも質疑はございませんか。

ないようでしたら、次に移ります。

それでは、書写について質疑がありましたらお願いいたします。

加藤委員 先日、学校訪問に伺ったときに、鉛筆の持ち方がきちんとできていないお子さんがいらしたのです。このような基礎基本について、特徴的なことがあったら教えていただきたいのですけれども。

猿田委員長 鉛筆の持ち方、あるいはそのときの姿勢、用具等について、その使い方を取り上げているページ数では、三省堂が56ページで一番多かったです。続いて、光村図書出版が50ページとなっています。

委員長 ほかにも質疑はございませんか。

ないようでしたら、次に参ります。

それでは、社会について質疑がありましたらお願いいたします。

渡辺委員 先ほどの説明の中で、本市におきましてもオリンピックの教育推進校として取り組んでいる小学校があると思いますが、オリンピック・パラリン

ピックについて、各教科書ではどのように取り上げられているか、特長的な部分があったら教えていただければと思っています。

猿田委員長 本市においても、オリンピック教育推進校として取り組んでいる小学校は第一小学校、第三小学校、第七小学校の3校です。オリンピック・パラリンピックについては、各教科書の第6学年で取り上げられているものですが、教育出版社については第5学年と第6学年の合計3項目で取り上げられております。

委員長 ほかに質疑はございますか。

それでは、次に参ります。

地図について質疑がありましたらお願いいたします。

特にございませんか。

ないようでしたら、次に参ります。

算数について質疑はございませんか。

それでは、私から。先ほど大日本図書の御説明の中で、練習問題が多いという特長があるというお話でした。その中で、特に計算問題の量について、何か特長的なところがあれば教えていただけますでしょうか。

猿田委員長 算数の「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の各領域の分量割合ですけれども、どの教科書も「数と計算」に割合を一番多く割いています。中でも「数と計算」の割合が一番高いのは東京書籍の約53.4%、次いで大日本図書の51.5%となっています。

委員長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

ないようでしたら、次に参ります。

理科について質疑はございませんか。

徳永委員 理科は、1、2年生の生活科との関係を考慮して、物づくりなどの科学的な体験を図ることが今回の教科書の改善の一つだというふうに伺っていますけれども、その物づくりの扱いについて、特徴的なことがあれば教えてください。

猿田委員長 物づくりについては、各社さまざまな工夫がなされているところですが、その種類数については大日本図書が36と一番多く扱っているところです。次いで、信州教育出版が35となっているところです。

委員長 ほかにございませんか。

それでは、ないようでしたら次に移ります。

生活について質疑はございませんか。

- 加藤委員 生活科は、体験的な学習が主になると思うのですが、その学習の過程である「気づき」とか、「体験活動」とか、「まとめの振り返り」などについて、各発行者の特長をお教えいただきたいのですが、
- 猿田委員長 調査委員会で調査研究したところ、三省堂と日本文教出版、大日本図書は「気づき」に重点を置いています。啓林館は、「気づき」と「体験活動」に重点を置いている傾向が見られました。3点がバランスよく掲載されているのは東京書籍と教育出版でした。
- 委員長 生活について、ほかにございますか。
ないようでしたら、次に参ります。
音楽について、質疑はございませんか。
- 渡辺委員 福生市の各学校は、儀式的行事のときに「威風堂々」を必ず演奏するのですが、私が教科書を見たところ、この曲を扱っているのは教育芸術社だったと思うのですが、間違いはございませんか。
- 猿田委員長 間違いはございません。教育芸術社の5年生、6年生の器楽のところ、扱っています。
- 委員長 ほか質疑はございますか。
それでは、次へ参ります。
図画工作につきまして、何か質疑はございますか。
- 徳永委員 この絵にあらわす、工作にあらわすなど、「表現」の内容別題材数について何か特徴はありますか。
- 猿田委員長 「表現」の内容別題材数のうちに、「絵に表わす」活動の割合が一番多いのは開隆堂出版です。次が日本文教出版となっています。開隆堂出版は41.8%、日本文教出版は34.8%です。「工作に表わす」活動も、開隆堂出版が一番多くて、日本文教出版がその次に入ります。開隆堂出版が31.8%、日本文教出版は25.9%でございます。
- 委員長 ほかにございますか。
ないようでしたら、次に参ります。
家庭科について質疑はございますか。
- 加藤委員 家庭科というのは、家庭生活を大切にすることを育て、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるという目標があると思うのですが、家族について何か特長的な扱いをしているところがあれば教えてください。
- 猿田委員長 開隆堂は、挿絵や写真に「家族」を登場させながら、家族のあるべき姿、家庭生活を大切にすることを育もうとしている点が特長です。

- 委員 長 ほかにございますか。
 それでは、次に参ります。
 保健について御質問はございますか。
- 渡 辺 委 員 保健の各内容を取り上げているページ数について、特長的なことがあれば教えてください。
- 猿 田 委 員 長 保健の各内容、「毎日の生活と健康」「育ちゆく体とわたし」「心の健康」、それから「病気の予防」では、いずれも学習研究社のページ数が5社の中では最も多くなっています。「けがの防止」では東京書籍と光文書院が18ページで一番多く、次いで大日本図書と学習研究社が14ページとなっています。
 以上です。
- 委 員 長 ほかには質疑はございませんか。
 それでは、これで全教科終わりました。
 いま一度、全体を通して何か質疑ございませんでしょうか。よろしいですか。
 ないようでしたら、これで猿田委員長への質疑を終わります。猿田委員長、ありがとうございました。
 それでは、これから討論に入りたいと思います。
 教科ごとに各委員から意見をいただき、平成27年度使用教科用図書について採択をしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
 （「異議なし」の声あり）
- 委 員 長 では、初めに国語について御意見をお聞かせください。
- 加 藤 委 員 私は、子どもたちの学びやすさと先生方の教えやすさが教科書については第一だと考えます。子どもが主体的に、意欲的に学んでいく視点で考えると、各学年で身につけるべき力を子ども自らが確認できる「学習を見渡そう」や、学んだことを確認して注意するポイントを示した「いつも気を付けよう」というところを設定している光村図書がよいのではないかと思います。
- 渡 辺 委 員 先ほども質問させていただいたのですが、国語は全教科の基礎になるものとして大変重要なものだと考えています。また、本市の子どもたちの課題である「読み解く力」を身につけるためには、やはり「読むこと」の作品数の多い教科書がよいのではないかと考えているところです。先ほどの猿田委員長の御説明では、光村図書と東京書籍がそれらの作品が多いとい

うことでしたので、私としてはこの2社のいずれかを推薦したいと考えております。

以上です。

徳永委員 この各教科書会社の教科書に目を通させていただきました。それで、今の「読み解く力」に関連するような作品もいろいろ見ていって、中には非常に新しい作品を挑戦的に取り上げている教科書もありました。そのようなことに対する評価はいろいろあるかとは思いますが、やはりここ何年も教科書で取り上げられてずっと残っているという、いわば教科書教材としての古典と申しますか、そういったものは優れたものであるのではないかと感じました。

そのようなことから、代表的な作品が多く、特に先ほど委員長の報告にもありましたけれども、原作の意図を忠実にあらわしている教材が多いという点、それから子どもたちに美しい日本語を習得させるために、言葉の美しさ、すばらしさにこだわる姿勢が随所にあらわれているという点で、光村図書出版の教科書がよろしいかと思いました。

加えて言うならば、美しくかつ論理的にという面もあるかと思いますが、具体的な例を一つ挙げるとすれば、言語活動の重視という点で論理が大事だと思えます。どの教科書も1年生で取り上げている「おおきなかぶ」では、光村だけがほかの会社とは違う訳文を使っているところに工夫が感じられました。そのような点で、私は光村図書出版の教科書を推薦したいと思えます。

委員長 ほかにございますか。

それでは、私からも発言させていただきます。国語について、私も5社の教科用図書を検討いたしました。光村だけがもつ特長があらわれている教材を評価したいと思えます。一つは、今、徳永委員が話された「おおきなかぶ」です。それと、あともう一つ、同じように5社共通の教材として選ばれているものに、5年生の「大造じいさんとガン」があります。原作には、物語の前に前書きがありますが、その前書きを載せているのは光村図書出版だけです。前書きから作者の伝えたい意図が読み取れることから、原作を忠実に表わした教材だと思えます。このことから、光村図書出版の教科用図書は、教材の一つ一つが発達の段階に応じてよく吟味されていると思えます。

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、採択に参りますが、委員の皆様御意見を総合いたしまして、光村図書出版を採択することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、次に参ります。

次に、書写について御意見をお願いいたします。

加藤委員 先ほどもお話しさせていただきましたが、福生市では鉛筆の持ち方がきちんとできていないお子さんが見受けられます。鉛筆の持ち方は学習の基本で、とても重要だと私は考えております。鉛筆の持ち方については、どの発行者、会社も取り上げていますが、特に光村図書出版は、初めにわかりやすく図で示して、見開き2ページを使って左手と右手の位置を示すなどして、基礎の徹底が図れるようになっていると思えました。

徳永委員 先ほどの国語の教科書とのつながりを考えると、書写も同様に、まず結論から申し上げると、光村図書出版がふさわしいと思えました。

今の加藤委員の話に加えて、技能面だけではなくて、もっとその周辺の知識といいますか、あるいは実用性といいますか、公文書などもA4の横書きになって久しいですけれども、もうビジネスの世界ではとくに横書きになっています。そういった点から、猿田委員長の説明にもございましたが、横書きで書くとか、手紙やはがきの書き方であるとか、新聞の書き方であるとか、ノートの工夫などに発達段階に合った内容の資料を掲載して発展的な学習ができる光村図書出版がよいと思えました。

委員長 ほかにございますか。

それでは、私からも申し上げます。今ほど御意見いただきました加藤委員、徳永委員の意見に関連するのですけれども、例えばこれは光村図書の1年の書写です。ここに鉛筆の持ち方、そして正しい座り方が書いてあります。そして、こちらにも、これは光村図書の1年の国語の教科書です。こちらにも同じようなイラストや写真、そしてまた文章も同じなのですけれども、それを同じ絵やイラスト、文字を使って、書くことの基本である正しい椅子の座り方、または鉛筆の持ち方を示しています。このように横断的な指導ができますことから、やはり国語の教科書との関連性はとても重要だと思います。したがって、私も国語の教科書と同じ光村図書出版がふさわしいと思えました。

ほか、よろしいでしょうか。

それでは、書写について、皆様御意見を総合いたしまして、光村図書出版を採択することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 次に、社会について御意見をお願いいたします。

徳永委員 先ほどの御報告にもあったように、教育出版の教科書というのは、きょう何を学習するのか確かめることができる工夫が図られていて、授業中、児童が迷子にならないという工夫ができていますかと思えます。活動の流れや問題解決のための「キーワード」あるいは「かいせつ」が示されていて、基礎、基本の習得に優れていると判断しました。

さらに、教科書の随所に子どもが考えたことを書き込める空欄が設定されています。本に書き込むということは異論もあるようですが、書き込みができるということは、思考力を高める工夫の一つであると私は考えます。そのような点から、私は教育出版を推薦します。

渡辺委員 私も教科書をすべて見せていただいて、教育出版がよいと考えています。学習の活動の流れが載っていることは、児童に非常に理解がしやすく、先ほど徳永委員がおっしゃっていましたが、見通しを持って取り組むことができると思っています。

また、猿田委員長の説明にもあったように、棒グラフ等資料提示が充実しており、大きくて見やすく、そして情報量が多いということは、学習を深めたり、読み取る学習に生かすことができるのではないかと考えております。

図や写真については、ほかの教科書も十分に工夫はされていますが、私は特別な支援が必要な子どもにとって、写真や図版がどのように配置をされているかということは非常に重要だと思っております。つまり集中力が低い子どもにとって、写真の上に図を重ねたり、さまざまな種類の写真を1ページの中に多く掲載したりしますと、どれを見たらいいか混乱するのではないかと思います。その点、教育出版の教科書は、写真や図が重ならないように配置をされているように思いました。

さらに、先ほど申し上げましたが、東京オリンピック・パラリンピックの開催は、子どもたちにとってまたとない教育のチャンスであると考えているところです。そのことについても、教育出版が一番多く扱っているということなので、その点から考えても私は推薦したいと思っています。

以上です。

委員長 ただいま徳永委員、渡辺委員から教育出版という話が出ましたけれども、ほかに御異議ありますか。ございませんか。

それでは、社会につきまして、委員の皆さんの御意見を総合いたしまして、教育出版を採択することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 次に、地図について御意見をお願いいたします。

加藤委員 地図に関しましては、基礎的、基本的な知識や技能の習得と活用という観点から、地図帳の使い方がわかりやすく示されて、地図の基本が学習できるということが大切だと思います。その点では、どちらの地図もその工夫が図られていると思うのですが、帝国書院の地図はわかりやすい色と文字で書かれていて、東京都の中での福生市の位置についても、子どもたちにとって、とてもわかりやすく明確だと思ったのです。そこで、私は帝国書院の地図を推薦させていただきたいと思います。

以上です。

徳永委員 加藤委員の意見に賛成です。私も帝国書院を推薦したいと思います。地図や統計など、各種の資料から必要な情報を集めて読み取る力を育てる、そういう意味では豊富で適切な資料が重要になるかと思います。そういった点から考えると、帝国書院のほうの情報量が多くて、社会科の学習を深める上で適切であると判断しました。

委員 長 ほかに御異議はございますか。

私も加藤委員、徳永委員と全く同じように思いました。

それでは、地図につきましては帝国書院を採択することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 次に、算数について御意見をお願いいたします。

渡辺委員 私は、この福生で今課題となっている算数的な思考力をどのように伸ばそうとしているのかということに注目しました。これは、中学校に行っても数学的な考え方ということになっていくのですけれども、そこで考える力を伸ばすための特設教材「考える力をのぼそう」を3年生以上で設定していました東京書籍を推薦したいと思っております。図や表を活用する能力や数学的に考える力を伸ばす上で非常に効果的ではないかと考えたところです。

以上です。

加藤委員 基礎、基本に重点を置いているものや、発展学習に重点を置いているものとか、さまざまな特長が見られますが、やはり私はバランスというものが大切なのではないかと考えます。その点では、渡辺委員がおっしゃった

ように東京書籍が基礎、基本の学習にも、発展的な学習にもバランスがとれていて、何々を考えましょうという形の間いが多くて、課題解決の考え方を身につけるのにとっても有効なのではないかと考えます。私も東京書籍を推薦いたします。

委員長 ほかにも御意見はよろしいですか。

私は、先ほど猿田委員長に計算問題の量について御質問させていただきました。私は、算数の基礎基本である計算を福生の子どもたちに繰り返し何度もやってほしいと思っております。それゆえ計算問題の取り扱い分量は、学習の定着を図る上でも重要なポイントになるのではないかと考えております。したがって、数と計算に多くの割合を割いている東京書籍がよいと思います。練習問題が多ければ、先生方が家庭への宿題に出す際もよろしいのではないのでしょうか。

ほかにも異議はございますか。

それでは、算数については、皆さんの御意見を総合いたしまして、東京書籍を採択することによろしいのでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 次に、理科について御意見をお願いいたします。

徳永委員 理科は、生活科との関連が深い教科ですけれども、先ほども理科の質問を申し上げましたが、物づくりなどの科学的な体験や身近な自然を対象とした自然体験の充実が大切ではないかと考えております。先ほどの私の質問に対するお答えでも、物づくりの内容を多く扱っているのは大日本図書と信州教育出版社ということでした。教科書の中に、この福生を流れる多摩川とか、あるいは近くの浅川の写真が載っているということからも、市内を身近に感じるという点で、大日本図書がよろしいのではないかと思います。

加藤委員 理科については、児童が主体的に取り組めるように、実験や観察の仕方や学習の進め方がわかりやすく示されたものがよいのではないかと考えます。「見つけよう」「調べよう」「まとめよう」という理科の学び方をわかりやすく示しているので、観察や実験を重視している大日本図書を私も推薦いたします。

委員長 ほかにも御意見はございませんか。

私も徳永委員と同じように、やはり子どもたちが教科書を開いて、身近な地名、またその内容等が掲載されていると、より関心を持って学んでく

れるのではないかと考えております。私も大日本図書がよろしいかと思
います。

それでは、まとめさせていただきます。理科につきましては、大日本図
書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 では、次に生活について御意見をお願いいたします。

加藤 委員 生活科は、どの会社も子どもたちの意欲を高める工夫をしていて、1年生
が興味をもって、楽しく意欲をもって学べるように、子どもの表情が豊か
な学習風景の写真がたくさん使われていると感じました。生活科は、体験
的な学習が主であるために、その学習過程である「気づき」とか「体験活
動」「まとめの振り返り」について、この3点をバランスよく載せている
教科書がよいと思います。その視点からいうと、東京書籍か教育出版がよ
ろしいかと思えます。

渡辺 委員 私は、教育出版の教科書を推薦したいと思えます。生活科は、自分自身の
生活について考えさせ、生活上必要な習慣や、そして技能を身につけさせ
る視点が大切なのですけれども、教育出版の教科書には「はっけんヒン
ト」や「おうちでチャレンジ」という家庭と連携した活動のヒントが示さ
れていたと思えます。このことは、児童が生活科で学んだことを日常の生
活に生かすという意味で、つまり学校と家庭との連携というのを深めてい
くという観点からも非常に優れているのではないかと考えたところです。

以上です。

教 育 長 私からも発言をさせていただきたいと思えます。

各委員から御指摘をいただいておりますが、生活科で得た学びは、3年
生から始まります社会科あるいは理科の基礎となると考えております。そ
う考えますと、生活科の学びは、社会科あるいは理科への架け橋である
と
思っているところでございます。その点から考えますと、発展的な学習の
取り扱い、あるいは科学的な視点を養うという観点もしっかりと考慮され
ている教育出版がよいのではないかと考えております。

例えば、おもちゃづくりの単元では、おもちゃづくりを始める前に、材
料で遊ぼうという学習を設定しています。原材料、素材の特長を子どもた
ち自身が十分に試してから実験をし、おもちゃづくりに取り組む流れとな
っております。本市で使いたい教科書であると考えます。

以上でございます。

委 員 長 ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、生活につきまして、委員の皆様のご意見を総合いたしまして、教育出版を採択することによってよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 それでは、次に音楽について御意見をお願いいたします。

渡辺 委員 教育芸術社の教科書は、歌詞の内容や楽曲が児童の興味、関心を引き出すものが多く掲載されていたと思います。また、題材のねらいを踏まえた学習目標をそれぞれのページ上部に大きく示して、1時間ごとの学習の要点が非常にわかりやすくまとめられていたのではないかと考えています。

そして、先ほどもお話しさせていただきましたけれども、我が市、福生市の各学校の儀式的な行事では必ず演奏されています「威風堂々」を扱っているという点からも、私は教育芸術社を推薦したいと考えております。

以上です。

徳永 委員 私も教育芸術社がよろしいかと思えます。内容を見せていただきますと、1年生の歌唱教材では音域を1オクターブの範囲にするとか、まだ声が固まっていない子どもたちですから、発達段階に応じて音域だとか難易度が配慮されていて、こういう小さい段階ごとに、取り組めるような工夫がされているように感じました。また、一つの題材に対して、歌うとか楽器で演奏するとか、さまざまな活動でアプローチすることができ、楽曲を深めることができると思えました。そのような点で、教育芸術社を推薦します。

委員 長 今2名の方から教育芸術社ということで推薦が上がりました。御異議ある方いらっしゃいますか。

それでは、音楽につきまして、教育芸術社を採択することによってよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員 長 それでは、図画工作について御意見をお願いいたします。

徳永 委員 図工についてですけれども、基礎基本の定着、また技能の系統性、そういった面を重視するという観点から、私は開隆堂出版の教科書を推薦します。例えば目次を見てもらうと、目次に用具、材料の項目があり、技法上の系統性を把握しやすく、また技能面での基礎、基本の指導に役立つ「パレットコーナー」あるいは「道具箱」のページなどがよい工夫だと思います。

以上です。

教育 長 私もお話を申し上げたいと思えます。

現在福生市の子どもたちの作品、このレベルについてでございます。教育委員の皆様には、学校訪問のたびにその子どもたちの作品のできぐあい

について、大変お褒めのお言葉をいただいております。市内の学校の教員の指導力というものも大変大きな要素かと思っておりますが、年々作品のレベルが上がっております。明るく、とても丁寧な作品になっておりまして、ぜひ継続して成果につなげてほしいと考えております。

子どもたちは、図画工作に取り組むときに、自分の感性に従って創作活動をします。その際、やはりモデルが必要であり、教科書に掲載された作品がそれに当たるわけですが、プロの描いた作品よりも、子どもたちにとって身近な子どもの作品がよいと考えます。そういった点で、私は開隆堂出版を推薦いたします。

以上でございます。

委員長 ほかにも御意見ございますか。御異議のある方ありますか。よろしいですか。

それでは、図画工作につきまして、皆さんの御意見を総合いたしまして、開隆堂出版を採択することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 次に、家庭について御意見をお願いいたします。

加藤委員 家庭ですけれども、家庭生活を大切にすることは、今福生市の子どもたちにはとても大切なことだと考えます。挿絵や写真に「家族」というものを登場させながら、温かい家族の姿や家庭生活を大切にすることを育もうとしている開隆堂出版を推薦させていただきます。

渡辺委員 私も開隆堂出版を推薦したいと思っております。児童が実習する際には、わかりやすい手順や資料がとても役に立つと考えております。資料が豊富で、実習に臨む姿勢や準備、そして手順などが絵や鮮明な写真で非常にわかりやすく示されておりました。生徒の興味と関心を引く教科書だと思っているところでございます。

以上です。

委員長 ほかにも御意見ございますか。御異議のある方いらっしゃいますか。

私も2冊比較させていただきましたけれども、やはり大人の私が見ても、とてもわかりやすく、例えば運針であるとか、ミシンの使い方であるとか、家庭でもすぐに役に立つような教科書であったと思います。どちらかといいますと、やはり開隆堂のほうが見やすいのかなと思いました。

それでは、家庭科につきまして、開隆堂出版を採択することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 次に、保健について御意見をお願いいたします。

渡辺委員 私は、保健につきまして、学習研究社を推薦したいと思っています。この教科書は、保健の各内容であった「毎日の生活と健康」、「育ちゆく体とわたし」とか「心の健康」あるいは「病気の予防」のいずれもページ数が5社の中で最も多かったようなので、内容の充実が非常に感じられたところでした。また、グラフや写真、絵などが多く用いられ、その資料も適切であって、児童が段階的に理解できるようになっており、非常に見やすさを感じました。そのような理由で学習研究社を推薦したいと思います。

以上です。

徳永委員 私も渡辺委員の御意見に賛成です。学習研究社を推薦します。見開き2ページの構成になっているので、使いやすく、児童が学習の見通しを持つことができるかなと思いました。個人的な感想を言えば、少し漫画風なところがありますが、それは恐らく子どもの親しみやすさということにつながることで好意的に判断したいと思います。

また、身の回りの生活の危険について取り上げている箇所、これも一番多く、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる上で、大事なことはないかと思いました。

以上です。

委員長 ほかに御意見ございますか。御異議のある方はいらっしゃいますか。

それでは、保健につきましては学習研究社を採択することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 これで福生市立小学校平成27年度使用教科用図書の討論を終わります。庶務課長、採択結果について確認してください。

庶務課長 それでは、ただいま御討論いただきました結果について確認させていただきます。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、大日本図書。生活、教育出版。音楽、教育芸術社。図画工作、開隆堂出版。家庭、開隆堂出版。保健、学習研究社。

以上でございます。

委員長 それでは、お諮りいたします。福生市立小学校平成27年度使用教科用図書につきましては、ただいま庶務課長が確認いたしましたとおり採択したいと思います。御異議ございますか。

(「異議なし」の声あり)

委員長

御異議なしと認めます。

よって、確認のとおり決定いたします。

次に、日程第3、議案第31号、福生市立小学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

主幹より内容説明をお願いいたします。

主

幹

それでは、議案第31号、福生市立小学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書の採択について御説明申し上げます。

学校教育法第34条第1項に、「小学校においては、文部科学省の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない」と定められております。このことに関しまして、特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、同法の附則第9条において、「第34条第1項に規定する教科書以外の教科用図書を使用することができる」と定めております。

そこで、教科用図書選定協議会報告書(様式1)にごございます図書が採択の対象となる教科用図書となります。別紙「福生市立小学校平成27年度使用特別支援学級教科用図書一覧」は、この報告書を一覧にしたものでございます。

国語は、3社から10冊でございます。書写は、3社から10冊でございます。社会は、2社から5冊でございます。算数は、3社から10冊でございます。理科は、4社から7冊でございます。生活は、3社から4冊でございます。家庭は、3社から4冊でございます。保健は、4社から7冊でございます。

特別支援学級におきましては、児童一人一人の個性に対応する必要があることから、別紙にあります全ての教科用図書について御配慮賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

委員長

内容説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

なお、質疑については一括して行うことといたします。いかがでしょうか。それでは、何か質疑ございますか。

1点よろしいでしょうか。昨年まで採択した教科用図書が廃版、また絶版になった教科書が多数ありました。ことしは、そのような可能性はないでしょうか。

主 幹 現在十分精査をいたしまして、各出版社からも確認をとっているところでございます。現在は、そのようなところはございません。

委 員 長 それでは、これより討論に入ります。なお、討論については一括して行うことといたします。いかがでしょうか。ございませんか。

それでは、討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

お諮りいたします。福生市立小学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書につきましては、議案のとおり採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委 員 長 御異議なしと認めます。

よって、議案のとおり決定いたします。

次に、日程第4、議案第32号、福生市立中学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

主幹より内容説明をお願いいたします。

主 幹 それでは、議案第32号、福生市立中学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書の採択について御説明申し上げます。

学校教育法第34条第1項に準じまして、中学校においても「文部科学省の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない」と定められております。

このことに関しまして、小学校の特別支援学級と同様に、中学校の特別支援学級で使用する教科用図書についても、同法の附則第9条におきまして、「第34条第1項に規定する教科書以外の教科用図書を使用することができる」と定められております。

そこで、教科用図書選定協議会報告書(様式1)にございます図書が採択の対象となる教科用図書でございます。「福生市立中学校平成27年度使用特別支援学級教科用図書一覧」は、この報告書を一覧にしたものでございます。

国語は、2社から2冊でございます。書写は、1社から1冊でございます。社会は、2社から2冊でございます。数学は、3社から3冊でございます。理科は、1社から1冊でございます。美術は、3社から3冊でございます。技術・家庭の技術は、1社から1冊でございます。英語は、1社から1冊でございます。

小学校同様、生徒一人一人の個性に対応する必要があることから、議案にありますように、全ての教科用図書について御配慮を賜りますようお願い

い申し上げます。

以上でございます。

委員長 内容説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

なお、質疑については一括して行うことといたします。質疑はございませんでしょうか。

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。なお、討論については一括して行うことといたします。御意見ある方いらっしゃいますか。ございませんか

討論なしと認めます。これをもって討論を終わります。

お諮りいたします。福生市立中学校特別支援学級平成27年度使用教科用図書につきましては、議案のとおり採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 御異議なしと認めます。

よって、議案のとおり決定いたします。

以上で本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして平成26年第4回福生市教育委員会臨時会を終了いたします。ありがとうございました。

午後3時30分 閉会